

園芸機能開発学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 山口正己・雨木若慶・杉山信男・馬場正

◆学習・教育目標

園芸機能開発学特論演習Ⅰと同様、各自の修士論文の主題（テーマ）に関する先行研究を渉猟し、それをまとめ、プレゼンテーションする経験を積むことで、質の高い学会発表や修士論文発表ができるような資質を高めるのが目的である。さらに参加者の発表を聞き、ディスカッションに参加することで、学部で学習した園芸機能開発に関する学識を深化させることができる。

発表に先立ちレジュメを作成することにより、事実と意見を区別して論理的に記述する能力や明快簡潔な文書能力の習得が可能となる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

<u>園芸</u>	<u>機能開発</u>	<u>バイオテクノロジー</u>	<u>品種育成</u>
種苗生産	環境制御	ポストハーベスト技術	品質保持

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	本演習の進め方のガイダンスを行う	終身論文研究実験の目的、方法について整理を行うと共に、得られたデータについても整理し、可能な推論等について考察を行っておく。
2			
3	各自の修士論文に関わるテーマの発表・ディスカッション(第1週～第15週)	毎回数名が発表を行い、発表後にディスカッションを行う。発表内容は修士論文研究テーマに関連したものを中心とする。また、研究の進展に応じて、実験方法、結果および考察棟の発表を行うことも可能である。	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

_____ / _____ / _____ (_____)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

_____ / _____ / _____ (_____)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

各自が行う発表内容と、その後受講者全員で行うディスカッションで総合的に評価する

◆その他受講上の注意事項
